



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和6年10月23日

10月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

「行事と成長」

校長 山内 清一

10月13日（日）、今年度の文化発表会を開催しました。合唱コンクール、小笠原・広島・ウイロビー派遣生徒による発表、吹奏楽部・演劇部の発表と素晴らしい文化発表会であったと思います。380名以上の保護者の皆さんに杉並公会堂までお越しいただきました。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

合唱コンクールの特別審査員は、昨年度に引き続き塚田真夫先生にお願いしました。東京都の中学校音楽教育に長年にわたって尽力され、合唱指導者としてもご活躍されている方です。専門家の立場からの審査と、分かりやすいアドバイスもしていただきました。また、生徒の合唱に取り組む姿勢にもお褒めの言葉をいただきました。

さて、この文化発表会は、1学期から準備・計画してきた行事ですが、特に合唱は2学期になって本格的に練習を重ねました。音楽の授業だけでなく学年・学級での練習に熱が入りました。歌声が響く学校は素晴らしい学校だと思っています。これは、今では卒業式でよく歌われる曲として知られる「旅立ちの日に」が、埼玉県秩父市立影森中学校の落ち着かない状況にあった学校を立て直す取組から生まれたことを知り、歌が人々の気持ちを一つにまとめる力を持つと気づいたからです。歌は一人で歌うのもいいものですが、多くの人が気持ちを合わせて歌うことも素晴らしいことだと思うのです。



3年生学年合唱

神明中学校の合唱コンクールはそれぞれのクラスが学年に関係なく金賞を目指す合唱コンクールです。金賞を目指すということも大切ですが、金賞を受賞したことで、あるいは金賞を取れなかったとしても、それ以降に何ができるかということも大切です。「金賞を目指してみんなで協力し、努力したことに自信をもつ。誰かが見ていなくても汗を流した自主性を次に繋げる。」です。毎日の生活を大切にしながら、行事の時には本気で努力することで一人一人の成長も期待できます。

また、文化発表会は、合唱コンクールに注目が集まりますが、小笠原・広島・ウイロビー派遣生徒による発表、吹奏楽部・演劇部の発表も忘れることはできません。「何を感じ、何を想い、何を表現し合うか」。自分が経験・体験したことや日頃から地道に努力してきた成果を発表してくれました。生徒たちの「表現力」に感動しました。



吹奏楽部の演奏

本番にしっかり歌える、発表できる、演技できるというのは「偶然の結果」ではありません。生徒の主体的な取組があったからです。文化発表会が終わったときは「本物の達成感」を感じることができたはずです。これからも生徒を成長させるためにこのような機会を大切にしていきたいと思います。

《10月のアルバム》

《社会を明るくする運動》10月3日(木)



生徒会による駅頭広報活動

《文化発表会》10月13日(日)



1年A組



1年B組



2年A組



2年B組



3年A組



3年B組



3年C組



吹奏楽部



小笠原派遣発表



広島平和学習派遣発表



中学生海外留学発表



演劇部

《生徒総会》10月18日(金)



生徒会長のあいさつ



議長団選出



生徒会前期反省



挙手で承認

【11月の予定】

11/2(土)~4(月)	杉並区連合文化祭	15(金)	期末考査(理・技家・美)
9(土)	学校公開・サタスタ	24(日)	3年英語スピーキングテスト
13(水)	期末考査(数・英・保体)	28(木)	1年校外学習
14(木)	期末考査(社・国・音)		